

文学研究科 史学・文化財学専攻(考古)						
科目区分／学年		1年次	単位	2年次	単位	単位合計
特殊研究	考古学研究ⅠA	2				22
	考古学研究ⅠB	2				
	考古学研究ⅡA	2				
	考古学研究ⅡB	2				
	考古学研究ⅢA	2				
	考古学研究ⅢB	2				
	文化財保存修復研究A	2				
	文化財保存修復研究B	2				
	民俗学研究A	2				
	民俗学研究B	2				
	東洋史研究B	2				
	小計	－	22	－	0	
演 習		考古学演習			8	8
小計		－	0	－	8	
テーマ研究	文化財学研究Ⅰ	2				8
	文化財学研究Ⅳ	2				
	歴史資料論Ⅱ	2				
	歴史資料論Ⅲ	2				
小計		－	8	－	0	
合計		－	30	－	8	38
主要科目1	科目名	考古学演習		考古学演習		
	特徴	考古資料を利用した研究成果を演習参加者が発表し、後期はその研究発表の相互討議を通じ各研究テーマの内容を検討する。		修士論文作成についての研究指導。		
	目的	修士論文のテーマに沿って適切な資料収集ができるスキルを習得し、考古資料の分析能力を高める。また、分析結果の研究発表を通じてコミュニケーション能力を高める。		修士論文作成。		
主要科目2	科目名	考古学研究ⅡA		考古学研究ⅢA		
	特徴	考古学の基本的な方法論を深める。とくに層位学と型式学を研究史的に学ぶ。考古学ワークブックによる仮想問題をとく。		現代社会の中における“考古学”という学問を社会的に位置付け、哲学的に考える講義をおこなう。前半は、「層位論」・「型式論」などの基礎的な部分の習熟状況を確認すべく、中近世の多層位遺跡の発掘調査を例に取りながら講義をおこなう。後半は、考古学における「理論」に関するテキストを取り上げ、文献解題を通して「客観性」について、適宜、対話やディベートの形で進めてゆく。		
	目的	考古学の基本である分布と編年の方法を身に付ける。型式学と層位学の基本を習得する。		考古学者として哲学的・論理的思考を身に着ける。研究者の社会的位置付けを自覚する。		

文学研究科 史学・文化財学専攻(日本中世史)

科目区分／学年		1年次	単位	2年次	単位	単位合計
特殊研究		民俗学研究A	2			20
		民俗学研究B	2			
		考古学研究ⅠA	2			
		考古学研究ⅠB	2			
		日本史研究ⅠA	2			
		日本史研究ⅠB	2			
		日本史研究ⅡA	2			
		日本史研究ⅡB	2			
		アーカイブズ学研究A	2			
		アーカイブズ学研究B	2			
小計		—	20	—	0	
演習		日本史演習			8	8
小計		—	0	—	8	
テーマ研究		歴史資料論Ⅱ	2	文化財学研究Ⅰ	2	8
		歴史資料論Ⅲ	2			
		史料学研究Ⅱ	2			
小計		—	6	—	2	
合計		—	26	—	10	36
主要科目1	科目名	日本史演習		日本史演習		
	特徴	豊臣政権期から江戸時代初期に至る時代において、政治史に関する諸問題を考察するため諸論文、諸史料の読解を中心におこなう。		修士論文作成についての研究指導。		
	目的	豊臣政権期から江戸時代初期にかけての政治的諸問題を深く考察でき、受講生の問題関心に沿った発表をおこなうことによりプレゼンテーション力を強める。		修士論文作成。		
主要科目2	科目名	日本史研究ⅡA		アーカイブズ学研究A		
	特徴	「日本中世の地域社会」をテーマに、荘園史料を精読する。渡辺澄夫編『豊後国荘園公領史料集成』をもとに議論を行い、史料読解の仕方や、史料・先行研究・辞書・データベースなどから適切な情報の引き出し方などについて学ぶことで、研究の基礎力を培っていく。		アーカイブズ学の文献精査と討論による理解の深化が目的の授業である。アーカイブズ学及び関連領域文献を輪読して討論を行う。主に管理論、運営論に関する文献を選定し、文書館全体のマネジメント能力の養成をはかる。学生各自の研究と関連させた個別研究報告も設定する。国立公文書館の准認証アーキビスト認定にかかる授業である。		
	目的	課題設定や史料解釈、発表方法など、研究を進める総合的な力を受講者が高める。		アーカイブズ学と歴史学との違いを理解し説明でき、アーカイブズに関する問題点を指摘し対策を提言できる。		